

「環境ビジネスの充実を」

処理法見直し議論参画

国会長が
コメント

(社)全国産業廃棄物連
合会(國中賢吉会長)
は1月16日、東京・明



國中賢吉会長



斉藤鉄夫環境大臣

治記念館で新年賀詞交
歓会を開催した。年頭
あいさつで國中会長は
「今年に入っても特に
中小零細企業に対する
景気後退の影響はさら
に深刻さを増して
いる。産業廃棄物処理
業も燃料価格の高騰、
スクラップ価格の急落、
需要縮小などの大きな
波に翻弄(ほんろう)さ
れている。国の緊急保
証制度の対象指定を受

けたが、依然として厳
しい経営環境でかじ取
りをせまられている。
今年には廃棄物処理制度
の見直し時期にあた
る。連合会としてもさ
らに充実した環境ビジ
ネスを展開できる枠組
みの構築を目指して審
議会の議論に参画して
いく」とコメントした。
また、来賓として出
席した斉藤鉄夫環境大
臣はあいさつのなかで
「先日、麻生総理から
3月中に日本版クリー
ンニューディール策定
の指示を受けた。不景
気を乗り切るには新し
い需要と雇用を生み出
して経済の起爆剤にす
ることが必要。将来目
指すべき低炭素社会、
循環型社会をつくり出
すための景気対策が柱
となる」と述べた。